

●地区別計画推進活動報告（社会福祉大会第2部）

平成26年2月21日（金）、第32回 緑区社会福祉大会の第2部地区別計画推進活動報告として、事例発表「身近な地域でつながりをつくるために」を開催しました。

この事例発表は、平成23年度からスタートした第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」のうち、区内11地区それぞれで展開されている「地区別計画」の具体的な推進状況を広く地域の方々にお伝えするとともに、今後の各地区での更なる展開のきっかけとしていただくことを目的に、計画期間である平成23～27年度の間、毎年開催を予定しています。

当日は、緑公会堂を会場に、天候にも恵まれ、和やかな雰囲気の中、日頃から地域で福祉・保健などの活動で活躍されているの方々を中心に、515名の皆さまにご参加いただきました。



＜受付（2階ロビー）の様子＞

第1部の式典では、緑区において永年にわたり社会福祉活動に携わってこられた多くの団体や個人の方の功績に感謝し、地域福祉の一層の充実を図ることを目的に表彰が行われました。



＜式典（表彰）の様子＞

それぞれの地区の推進委員より、地区の概要・特徴・策定経過・取組内容がパワーポイントを用いて、具体的に、わかりやすく説明されました。

ロビーでは、地域作業所・福祉施設製品の展示と11地区が地区別計画で取り組んでいる状況のパネル展示が行われました。

＜下：緑区社会福祉大会チラシ＞

第32回 緑区社会福祉大会

【日時】平成**26**年**2**月**21**日(金)
午後**1**時から**3**時**30**分【会場】緑公会堂

【第一部】式典（午後1時～2時）
社会福祉功労者・金品預託者の表彰
区内の社会福祉活動に貢献した個人・団体を表彰します。

【第二部】事例発表（午後2時～3時30分）
「身近な地域でつながりをつくるために！」
平成23年度からスタートしました第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進状況を広く地域の方々にお伝えすることを目的に、具体的な推進事例を発表していただきます。

【事例発表地区】
■鴨居地区の取り組み……鴨居地区別計画推進委員会
■新治中部地区の取り組み……新治中部地区別計画推進委員会
■山下地区の取り組み……山下地区別計画推進委員会

コーディネーター：みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会 委員長 村井 祐一 氏
(田舎調布学園大学 人間福祉学部 教授)

※第一部・第二部ともに、手話通訳有り
※大会参加にあたり、事前申込みは不要です(参加費無料)。

◎当日2階ロビーでは、地域作業所・福祉施設*製品の展示をおこないます。
◎当日の受付：12:30～13:00 受付：みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会 事務局
※会場：緑区地域福祉センター・わんどうん 展示場・山あもり園、展示場つたの広学舎

緑区社会福祉協議会 電話：931-2478 FAX：934-4355
緑区福祉保健センター 福祉保健課 事業企画担当
電話：930-2304 FAX：930-2355

そして、その表彰の余韻が冷めやらぬなか、休憩を挟み、第2部がスタートしました。第2部では、「身近な地域でつながりをつくるために」をテーマに、鴨居・新治中部・山下地区の順に、3地区の報告が行われました。



＜発表（パワーポイント）の様子＞

第2部での各地区の発表内容は次の通りです。

鴨居地区では、「黄色いリボン事業」や「防災ささえあいカード」等の取組が紹介されました。

「黄色いリボン事業」は、災害時の安否確認を目的としており、掲出訓練や地域防災拠点訓練に活用されています。リボンは中学生や単位自治会の協力を得て作成しました。また「防災ささえあいカード」を通じて収集した個人情報の活用方法について継続的な検討も行われ、「安心・安全・健康」のまちづくりを進めています。その他にも、「鴨居福祉まつり」の開催や、地域防災拠点の交流が取り組まれてきました。

鴨居地区では、これらの取組の中から、若い世代の人材等の後継者の育成を目指しています。今後は「子どもから大人までが顔のみえる関係づくり」を目標に取組を進めていきます。

＜鴨居地区の（左）板垣氏、（右）岡本氏＞



＜鴨居地区の報告内容の一部＞

＜新治中部地区の（左）岩間氏、（右）古内氏＞

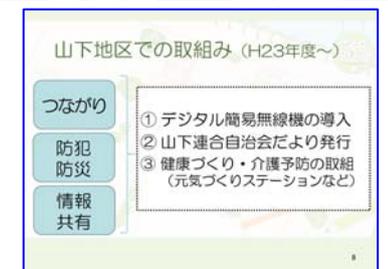


＜新治中部地区の報告内容の一部＞

新治中部地区では、計画の目標にある「防犯・防災に強い、安心できるまち」「次世代につながるまち」に向けた取組が紹介されました。

イベントや地域・学校との連携を通じた「つながり」づくりの取組として、「新治中部ふれあいフェスティバル」や「金環日食」観測会を開催しました。さらに、一人ひとりの意識を高め、日頃から災害に備えられるように「新治中部防災リーフレット」を作成しました。今年度は、特に、防犯の意識をさらに高めるために、「あいさつ運動」などの取組を実践することに重点を置き、「防犯キャッチフレーズ」プロジェクトを立ち上げました。これらの取組から、地区では「地域と学校の連携を充実」させることができました。今後は「みんなで力を合わせて次世代につながる地域づくり」を目標に地区の取組を進めていきます。

＜山下地区の（左）荒谷氏、（右）井上氏＞



＜山下地区の報告内容の一部＞

山下地区からは、「デジタル無線機の導入」「山下連合自治会だより発行」「健康づくり・介護予防」の取組が紹介されました。

「デジタル無線機の導入」は、防災体制づくりを目的に進められています。今後は、導入台数を増やすことで、災害時に限定しない日常的な地域のささえあい活動につなげることを目標としています。また、地区内でのつながりづくりの媒体として「山下連合自治会だより」が発行され、地区内での情報共有を進めています。「健康づくり・介護予防」の取組では「元気づくりステーション」が行われ、多くの参加者が継続的に参加することでコミュニティづくりに繋がっています。

最後に、「地区全体で課題を共有しながら、もっと素敵な街とするために、出来ることから順次取り組んでいく」ことを今後の目標に地区の取組を進めていきます。

発表終了後、推進委員長の村井祐一コーディネーターから発表者に対して、取組の中で苦労したこと、その中での手応え、地区別計画として取り組んだことで良かった点や難しかった点、取組後の変化などについて、質問が出されました。発表・質疑応答を通じて、発表者の取組に対する想いや、各地区の取組の工夫などを、参加者と共有することができました。最後に、村井委員長から総評があり、会場からの大きな拍手で第2部が終了しました。

＜村井委員長（コーディネーター）＞

